

審議事項（1）第二次栗東環境基本計画の実績について

意見	発言内容	回答
<p>目標を達成できなかった理由について</p>	<p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に達しなかった指標について、理由があれば伺いたい。</li> </ul>	<p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ごみの資源化率</u>について、平成29年度に一度増加しているのは、大阪湾フェニックス（最終処分場）に持ち込んでいた焼却灰の一部をセメントにリサイクルする業者への引渡しに切り替えたためである。そのほか廃食用油、小型家電のボックス回収や集団回収等を行いながら、資源化率の向上に努めてきた。目標の資源化率を達成できなかった大きな要因は、書籍の電子化や新聞購読率の低下、ドラッグストア等による自主回収（ポイント付与）の利用増加により、古紙、新聞・雑誌の回収量が想定以上に大きく減ったためと考えている。</li> <li>・<u>森林環境学習「やまのこ」事業参加者数</u>について、当初は目標到達に近い水準であったものの、特に近年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあって実施する学校が大幅に減り、到達に至らなかった。</li> <li>・<u>博物館教室「昔のくらし」受講者数</u>について、一時期は市内全小学校で実施していたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中断されて以降、全ての学校での再開には至っていない状態である。</li> </ul>
<p>資源化率について</p>	<p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古紙がドラッグストア等店舗で回収されているということは、市内の資源化は達成されているということにならないか。店舗での回収量を把握して、市の数値に計上した方がよいのではないか。</li> </ul>	<p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗での資源化量を市で把握することは難しいため、計上はしていなかった。各店舗で必ずしも協力が得られるかわからないが、資源化量を市に報告してもらえよう各店舗に依頼し、市の数量に計上するようにしたい。</li> </ul> <p>○会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗の回収量データを集めることはそう簡単ではない。リサイクルを数値化したいと指標がコロコロ変わると訳がわからなくなる。それよりもリサイクルの状況をしっかり把握できるような別の指標を考えることも含めて検討していただきたい。</li> </ul>

審議事項（2）栗東市環境年次報告書2023年度版（2022年度実績）について

意見	発言内容	回答
<p><b>環境基準値超過事業所について</b></p>	<p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>排水調査の基準値超過事業所数について、令和2年度と令和4年度に1件とあるが、同じ業者か。</li> </ul>	<p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>別の業者である。</li> </ul>
<p><b>騒音調査の測定方法について</b></p>	<p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>騒音測定の時間区分について、5～6時、12～13時、16～18時、21～22時が省かれている。特に16～18時は帰宅で車が多い時間でもある。省いてあるのはなぜか。</li> <li>参考でもデータを取れるなら取った方が良いと思うので、変化に対応してもらいたい。</li> </ul>	<p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去からこの時間区分で実施しており、恣意的にその時間帯を開けている訳ではない。経年変化をみるという観点から、時間帯の変更は難しい。</li> <li>ラッシュであれば夕方よりも朝の方が一時期集中すると思うが、その時間帯（朝）は含まれており、通勤に関する内容はそちらで把握できると考える。</li> </ul> <p>○会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>帰宅時間に車が多く、その時間帯もみるべきということであれば、他市町村の一般的なやり方（測定実施要領）を踏まえながら全体を捉えられるよう、時間設定を変えることも検討してもよいのではないか。</li> </ul> <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>測定時間の区分はあくまでもその期間内に測るということで、その間ずっと測定し続けている訳ではなく、区分に限らず測定していない時間はある。期間内のトレンドがどうかを調べるためのものであり、誤解がないよう明確に説明すべきである。</li> </ul>
<p><b>野焼きについて</b></p>	<p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公害パトロール状況について、野焼きに関するものが63件中29件、46%ととても多い。市広報による注意喚起などその対応に苦慮されていると思うが、ハワイの火事のような事例もあり、単に環境面というだけでなく、危機管理的な立場からも行政指導されるほうがよいのではと感じている。</li> </ul>	<p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>田畑一面に火をつけるようなこと（焼き畑）はほとんどなくなったが、害虫駆除や燻炭のような肥料づくりのためピンポイント的に行うことはあるようである。栗東市は田畑が民家に近いため、市危機管理課とも情報共有し、連携していきたいと思う。</li> <li>野焼きは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律で禁止されているが、農業や祭事に関するものは特例で除外されている。規制対象外のものでも苦情の連絡はあるが、法的には許されているため、必ずしも現地で行為を止めるように言えない部分もある。現在では、できる限り人に迷惑がかかる状況での野焼きはやめるよう指導している。また、消防や警察も出動して指導するケースもある。</li> </ul>

審議事項（3）栗東市環境基本計画行動計画骨子案について

意見	発言内容	回答
構成について	<p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この骨子案は従来とほとんど同じか。または削除したところがあるのか。</li> </ul>	<p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目としては、基本的に前回行動計画のものを踏襲する予定である。なお、昨年度に策定した「第三次栗東市環境基本計画」でとりまとめた社会情勢など、そういった箇所はできる限り簡潔にし、行動に関わる部分に重点を置いたものとしたいと考えている。</li> </ul>
記載内容について	<p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前の行動計画の中にも、必要のないものがあるのではないか。例えば、「ノーカーデー」運動に積極的に参加とあるが、本当に行われているのか。さらに、いっぺんにノーカーデーを実施した場合、バス等公共交通機関は対応しきれぬのか。「交通渋滞が起こりにくいまちづくり」といっても、慢性的な渋滞が解消していないところもある。「人と生きものがともに暮らせるまちづくり」というが、金勝地区は田畑を荒らすシカやイノシシと共生できるまちになるのか。できることを書いてほしい。</li> </ul> <p>○会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック廃棄物問題について、家庭の洗濯排水に含まれる数ミクロンの衣服の化繊くずが琵琶湖へ大量に流入している。プラスチックの使用をやめないといけないと世界的には出ている。また、野生動物との共生も世界的な流れで必要となっている。具体的な広い観点で策定していただきたい。</li> </ul>	<p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動計画に書かれていてもまだできていないという指摘だと思う。実現そのものが難しい面もあるが、目標の実現に向けてできる、やりきれるようなものを計画に記載しお示しのうえ皆様のご意見をいただきたい。</li> </ul> <p>○会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一度に実施することはできなくても、一つの到達点を掲げて一歩ずつ近づけていく努力をするための目標ではないかと思う。掲げることが無くなってしまふと、また進まないということになってしまう。現実的には一気に到達まで行くことは難しいと思うが、そういった意味で目標としての役割はあると思う。</li> <li>・市がどこまで環境への対応ができそうかを検討し、行動計画の策定を進めてもらいたい。</li> </ul>

第1回栗東市環境審議会（2023.10.30）

<p><b>文章の表現について</b></p>	<p><b>○委員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「循環型社会の栗東市の現状」の2019年から目標が達成されていない説明について、これまで努力して取り組んでこられた方々に対して誤解を与える。現状に対する市民への情報提供の際は、誤解を与えないよう、文言や数値、説明のしかたを考えたいほうがよい。</li> </ul>	<p><b>○事務局</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘いただいた意見のとおり、市民に誤解を与えないよう、文言等も注意しながら行動計画に盛り込みたい。また、次回審議会で素案を提案する際には、内容を確認してあらためてご意見等をいただきたいと思う。</li> </ul>
<p><b>ごみの分別について</b></p>	<p><b>○委員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「具体的な取り組み」で市民がやらなければならないことがたくさんあるが、市民の行動として、中でもごみの分別は、最初にやってほしい。特にアパートに引っ越してきた方でごみの分別ルールを守らない人が増えており、地域の高齢者や環境委員が分別している状態である。市が窓口できちんとごみ分別ルールを教えるということをどこかに入れてほしい。</li> </ul>	<p><b>○事務局</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転入手続きの際、窓口でごみ分別ガイドブックや地域別ごみカレンダーを渡し、指定ごみ袋の使用やごみ分別の内容について説明を行っている。</li> <li>・一方、集合住宅で法人契約のような住民票を移さずに短期間だけ暮らし転出するといったケースがあり、管理会社によっては入居者の把握すらできていないなど対応に苦慮している状態で、指定ごみ袋を使わない、分別すらしていないなどのトラブルも起きている。市が地域の環境保全推進員の方々と協力しながら今後も対応していきたい。</li> </ul>
	<p><b>○委員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどの委員の発言（上段）の趣旨は、行動計画にごみ分別に関する記述を入れてほしいということだったと思う。栗東市は、特にプラスチックの分別は他の市町村と比べても厳しく設定しているなど、そういったことも計画の中に挙げてほしい。</li> </ul>	<p><b>○事務局</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別の徹底は、市民の役割として記載する予定である。</li> <li>・分別の内容等は、審議事項4「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の実績について」に大きく関わるため、そちらで説明させていただく。</li> </ul>

審議事項（4）一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の実績について

意見	発言内容	回答
構成について	<p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の目標値設定について、現在方針や考え方のようなものはあるか。</li> </ul>	<p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体案まではまだない。可燃ごみの中の古紙の混入率が高い状況であるため、分別するよう啓発するほか、食品残渣をできるだけ減らす取組について、令和3年度に策定した「栗東市食品ロス削減推進計画」に基づいて、可燃ごみを減らす方向性を示したいと考えている。</li> </ul>
新環境センターの建設計画について	<p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月の市広報で現環境センターの周辺4自治会（伊勢落、林、六地藏、六地藏団地の各自治会）へ市が説明に行かれたということだが、また同じ場所に環境センターを置きたいということか。</li> </ul>	<p>○事務局（環境経済部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度に「栗東市ごみ処理施設整備基本計画」を策定のうえ処理方式を決定し、広く建設候補地を公募したものの応募は無かった。令和4年度には建設候補地の選定業務を業者発注のうえ進めてきた。本年度、その結果をもって、現在の環境センター周辺の関係4自治会に対し内容の説明を行った。様々な角度から検討を行った結果、現位置が最有力候補となり、9月30日から10月14日にかけて、関係4自治会に対して、もう一度、現位置での建設をお願いしたい旨、説明を行った。</li> </ul>
	<p>○会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ごみ処理施設（焼却により発電する施設）を設置させてもらうために、設置する周辺地域の電気代を半額にする。」というのは半分冗談だが、そのような気概があってもよいと思う。</li> <li>・新しくつくる焼却場では発電を行う。ごみ処理場をつくるのではなく、発電所をつくり、そこに燃料としてごみを提供するという発想に変えることもできる。市がつくらなくても、電力会社などがつくってもよいと思う。</li> </ul>	

第1回栗東市環境審議会（2023.10.30）

その他

意見	発言内容	回答
<b>省エネ家電の 購入費補助に ついて</b>	○委員 ・省エネ家電の購入に対して市から（上限）3万円の補助が出ると広報に載っていた。6月に空気清浄機付きのエアコンを付けたが、販売店に制限があり、ごくわずかな（数の）販売店でなければ補助が出ないといった内容になっている。なぜこのようなことになったのか。	○事務局 ・最近ではネット販売などさまざまな販売形態があり、申請に必要な書類の揃え方などの周知が難しいということがある。また、市内事業者育成の観点から、滋賀県電器商業組合栗東支部の加盟店を対象としている。